

落穂拾い (2000)

LES GLANEURS ET LA GLANEUSE

メディア 映画

ジャンル ドキュメンタリー

製作国 フランス

色彩 Color

時間 82分

初公開日 2002/02/09

公開情報 ザジフィルムズ

【キャッチコピー】

アニエスは、カメラをもって旅に出た。

フランス中の“ものを拾う人”と出会うために――。ユーモアとエスプリにあふれる現代文明批評。

【解説】

「シェルブールの雨傘」などで知られる映画監督ジャック・ドゥミ（1990年に他界）の妻で、自身も「5時から7時までのクレオ」「ジャック・ドゥミの少年期」などで高い評価を受ける映画監督であるアニエス・ヴァルダによるドキュメンタリー。ミレーの「落穂拾い」に着想を得、いわば“現代の落穂拾い”を探す旅を監督の興味のおもむくままに記録していく。

ある日、パリの市場で、道路に落ちているものを拾う人たちを目にしたヴァルダ監督は、ミレーの名画『落穂拾い』を連想した。落穂拾い――それは、農民たちが収穫した後の落ちこぼれた麦の穂を拾い集める貧しい人々の行為。昔は収穫期には必ず目にする光景だった。ヴァルダ監督は、フランス各地の“現代の落穂拾い”を探し、旅に出た。映画は、市場をはじめさまざまな形の“落穂拾い”を縦糸に、ボクシンググローブを首にさげた犬、走るトラックなど旅の途中で監督が興味を抱いた対象を横糸に、軽やかな文明批評と一方で監督自身を見つめる物語を紡いでいく。

【クレジット】

監督	アニエス・ヴァルダ	Agnes Varda
脚本	アニエス・ヴァルダ	Agnes Varda
撮影	ディディエ・ルジェ	Didier Rouget
	ステファーン・クロズ	Stephane Krausz
	パスカル・ソテレ	Pascal Sautelet
	ディディエ・ドゥサン	Didier Doussin
	アニエス・ヴァルダ	Agnes Varda
編集	アニエス・ヴァルダ	Agnes Varda
	ロラン・ピノ	Laurent Pineau
音楽	ジョアンナ・ブルゾヴィッチ	Joanna Bruzdowicz
録音	エマニュエル・ソラン	Emmanuel Soland